令和３年度　看護実践研究会企画委員会　活動計画

■活動目標	１．県内の参加者・発表者のニーズをアセスメントして企画し、参加者数の維持・増加を目指す。 ２．コロナ禍での看護実践研究会のあり方を企画検討する。
■開催予定	6回
■活動事業	令和３年度看護実践研究会の開催とそれに向けた企画委員会の開催 １．看護実践研究会の概要 開催時期：令和３年11月20日 対 象 者：県内の看護職者 参加人数：150名(新型コロナウィルス感染症の状況により変更する) メインテーマ：新たな看護の創造 教育講演：テーマ 「臨床現場での実践をどのように研究につなげるか－実演編－」 講師　東京大学大学院医学系研究科　教授　山本則子　氏 ２．看護実践研究会を企画する(定例会議で下記の事項を検討・決定する) ・演題および一般参加の募集要項について ・演題および一般参加の再募集について ・特別企画教育講演の検討(テーマ、講師、内容) ・当日のプログラム、運営スケジュール、係員必携 ・新型コロナウィルス感染症拡大予防の観点から、看護実践研究会の運営方法を検討する。(感染者数の動向を踏まえ、開催基準等の検討) ・集録集の内容、構成について ３．査読を通して研究および実践報告活動を支援する。 ・応募演題の査読および採否決定 査読基準に従って、発表成果が上がるようサポートする。 ４．看護実践研究会を開催する。 ・係員必携に沿って運営する。 ・参加者を対象に看護実践研究会についてアンケート調査を行う。